

県指定史跡 甲府城跡

よみがえる鉄門



鉄門の姿かたちと構造

【規模】

三間一戸潜戸付渡櫓門

木造、八母屋造、本瓦葺、正背面庇付。

一階東側番所付。

一階：桁行 七・八七九m

二階：桁行 四・五四五m

一階：梁間 一一・七二六m

二階：梁間 五・四五四m

延床面積： 七五・一九九㎡

建基面積： 七六・八一㎡

軒面積： 一一六・四八㎡

【基礎】

遺構である礎石を利用しながら、

補足的な鉄筋コンクリート基礎を追加。

【外部仕上】

一階板壁。

二階大壁、小舞下地、土壁、白漆喰仕上。

【内部仕上】

全面真壁。白漆喰仕上。

【屋根】

一階庇、片流れ、本瓦葺。

大屋根、八母屋造、本瓦葺。

大棟、降棟、隅棟で納め、

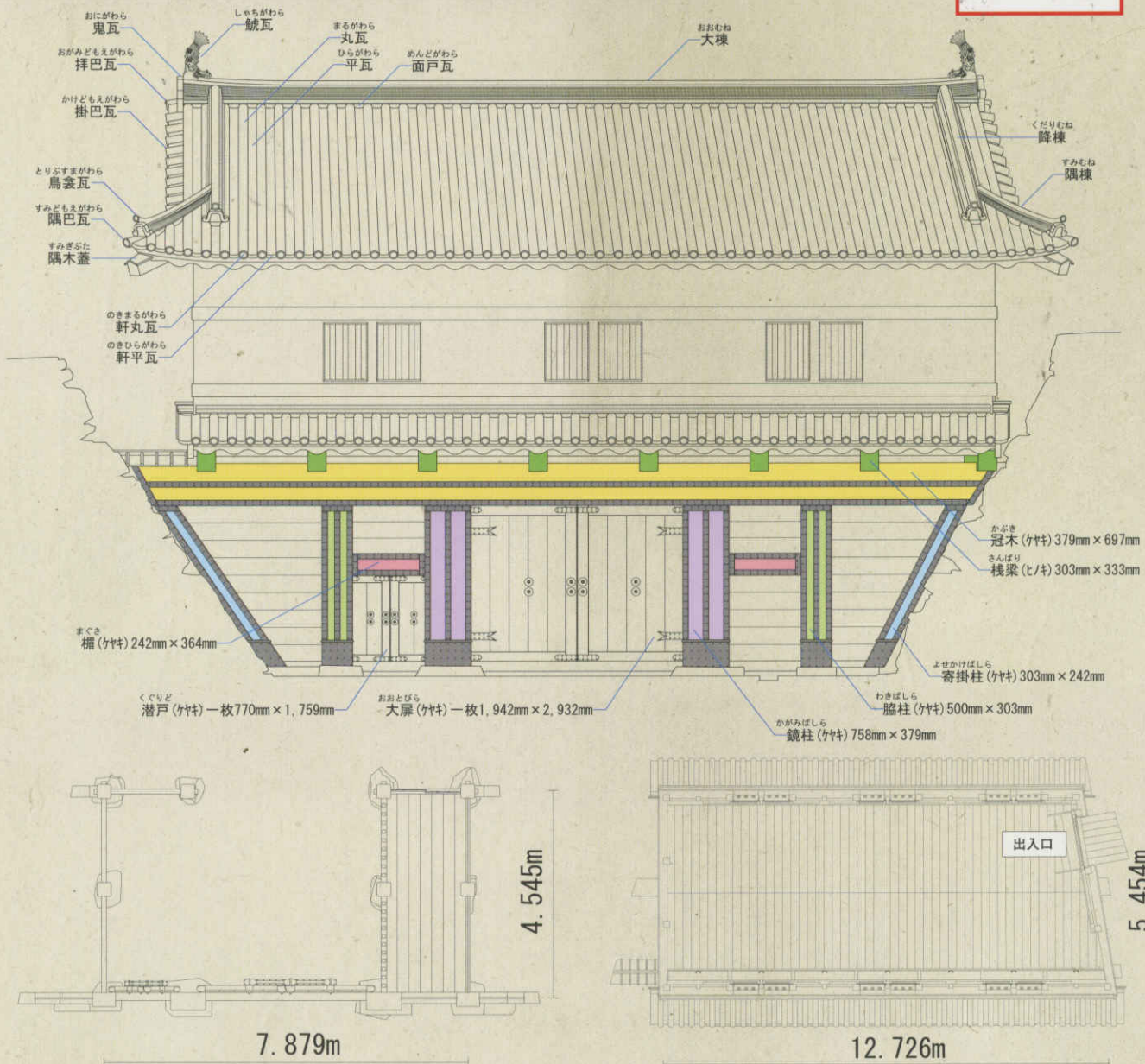
大棟端に鬼瓦・鯨瓦を据える。

県指定史跡甲府城跡は、甲府中心市街地に位置し、都市公園・舞鶴城公園としても親しまれています。

山梨県では、この甲府城跡に更なる歴史的風格を持たせ、一層の利用促進と地域活性化に繋がることを願い、鉄門復元整備事業に着手しました。史実と伝統的工法に基づき復元整備された鉄門は、平成25年1月10日に竣工を迎えました。

鉄門の姿かたち

南側立面図



1 階平面図

2 階平面図

主要材料原産地一覧

| 部位 | 品名 | 産地 |
|-----|---------|------------|
| 木材 | ケヤキ材 | 岐阜県 長野県 |
| | 松材 | 岩手県 福島県 |
| | ヒノキ材 | 奈良県吉野郡 |
| | 杉材 | 山梨県 |
| 壁材 | 土 | 愛知県瀬戸市 |
| | 砂(荒壁) | 岐阜県 多治見市 |
| | 砂(中塗り等) | 山梨県 |
| | 竹 | 山梨県 |
| | わらすさ | 埼玉県 |
| 屋根 | 漆喰 | 栃木県 |
| | 瓦 | 奈良県 |
| | 瓦用土 | 愛知県高浜市 豊田市 |
| | 葺き土 | 奈良県 |
| 建具材 | 土居葺き材 | 長野県 |
| | ケヤキ材 | 群馬県 栃木県方面 |
| | ヒノキ材 | 栃木県日光 |

復元整備の道のり

史跡等の整備は一朝一夕というわけにはいきません。甲府城跡も長い年月、県民や学識者の方々の考えや協力を得ながら、一歩ずつ進んできました。

特に、復元根拠となる発掘調査や絵図・古文書・古写真の基礎的調査研究は最重要課題であり、この基礎的調査研究と学際的な検討が復元整備事業の方向に大きく影響します。

工事現場においても、行政機関・委員会の学識者・土木技術者や職人が一体となり文化財に向き合う必要があります。ここでは、平成20年度より検討を重ね具体化した、鉄門の復元整備事業に関するプロセスや考え方を解説します。

復元整備の工程

伝統工法での復元整備をおこなう鉄門復元整備工事には、石工事・木工事・左官工事・屋根工事・瓦製作などの工程があり、たくさんの職人が係っています。ここでは、平成22年から着工した工事の様子を解説します。



1 工事は、発掘調査で検出された江戸時代の遺構面や、礎石の保護から始まる。



2 柱を立てる際は、礎石が傷つかないように慎重に作業をおこなう。



3 軒裏のきれいな波線は、左官職人が手作業で壁土をつけ形作る。



4 左官工事の最終工程・上塗り。斑がないよう素早く丁寧に仕上げられる。



5 屋根瓦の下地となる土居葺き。薄い杉板を竹釘で均等に貼っていく。



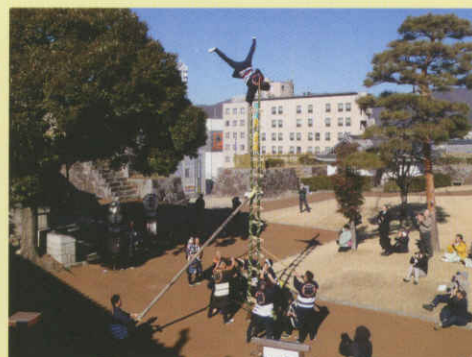
6 城内の出土品を参考に復元した鯨瓦を、慎重に大棟に載せる。

普及活動

甲府城跡や鉄門をたくさんの方々知ってもらうため、事業の中でさまざまな普及活動に取り組みました。企画展や県民の日の体験型イベントなど、子どもも大人も一緒になって楽しむ中で、甲府城跡の歴史、ひいては郷土の歴史や文化を学んでもらうねらいがあります。



ほら貝体験や泥めんこなどの江戸時代の遊び体験は、子どもだけでなく大人も夢中になって参加していました。



鉄門の竣工を記念して、はしご乗りなどをおこないました。あまり観る機会のない郷土の芸能に、参加者も興味深々！



委員会（専門部会）

歴史、考古、建造物、地盤工学、環境等学際的な検討と指導を受け復元根拠を整え、整備を進める。



発掘調査

遺構は、建物の存在を証明する、地面に残る唯一の物証で、建物の規模や構造の大きな根拠となる。



学術・史料調査

絵図、古文書、古写真等は復元建物の姿かたちを解明する最重要情報。全国を調査し、基礎研究を確実に実施する。

甲府城年表

| | |
|-------------|--------------------------------------------------|
| 1582年(天正10) | 織田信長らにより武田氏滅び、信長の支配となる (城代:河尻秀隆) |
| 1590年(天正18) | 本能寺の変の後、徳川家康が甲斐を支配 (城代:平岩親吉) 豊臣秀吉、家康が関東に移封 |
| 1591年(天正19) | 秀吉、羽柴秀勝、加藤光泰を甲府城主とする |
| 1593年(文禄2) | 光泰、文禄の役に出征し病没 浅野長政・幸長父子を甲斐に配置 |
| 1600年(慶長5) | 関ヶ原の戦い 浅野氏が紀伊和歌山に転封 家康の支配となる(城代:平岩親吉) |
| 1603年(慶長8) | 徳川義直(家康九男)が甲府城主となる |
| 1607年(慶長12) | 義直、尾張へ転封し、甲府城番制(武川十二騎)となる |
| 1616年(元和2) | 徳川忠長(家光の弟)が甲府城主となる |
| 1633年(寛永10) | 忠長、謀反の疑いにより高崎で切腹 甲府城番制(第2次)となる |
| 1661年(寛文元) | 徳川綱重(家光二男)が甲府藩主となる |
| 1664年(寛文4) | 綱重、甲府城大修理を実施 |
| 1673年(延宝元) | 綱重の子綱豊が甲府藩主となる |
| 1704年(宝永元) | 綱豊が六代将軍家宣となり、柳沢吉保が甲府藩主となる |
| 1709年(宝永6) | 吉保が隠居し、子の吉里が甲府藩主となる |
| 1724年(享保9) | 吉里、大和郡山へ移封し、甲府勤番支配が始まる |
| 1727年(享保12) | 甲府大火で城内と城下に甚大な被害 |
| 1866年(慶応2) | 勤番制を廃止して城代を置く |
| 1868年(慶応4) | 板垣退助率いる官軍が甲府城開城 |
| 1868年(明治元) | 明治維新 |
| 1873年(明治6) | 政府、甲府城を廃城とする |
| 1876年(明治9) | 城内を勤業試験場とする |
| 1903年(明治36) | 中央線、甲府まで開通(清水曲輪等) |
| 1917年(大正6) | 甲府城払い下げ。村松甚蔵の寄付により県有財産となる |
| 1926年(大正15) | 内堀の埋立て、県庁舎を建設 |
| 1968年(昭和43) | 県指定史跡として告示(史跡名称「甲府城跡」となる) |
| 1990年(平成2) | 舞鶴城公園整備事業に着手(平成16年まで) |
| 2004年(平成16) | 稲荷櫓復元完成 |
| 2013年(平成25) | 鉄門復元整備完成 |

甲府城と鉄門の歴史

甲府城跡は、豊臣秀吉の命により文禄・慶長年間(1590年代)に築城された城郭です。城内に残る築城当時の野面積み石垣は、全国的に見ても文化財的価値が高く評価されるものです。しかし、歴史的建造物は明治初年の廃城後に取り壊されてしまいました。

鉄門は、本丸と天守曲輪の境に建てられていた櫓門です。創建は、礎石に確認できる甲府城築城期の矢穴や江戸初期に描かれた絵図から、築城当初から存在したと考えられます。名称については、柳沢文庫所蔵『楽只堂年録』に「元八南門」とあり、宝永2年に柳沢氏が実施した城内の建物・曲輪の名称変更によって「鉄門」となったことがわかっています。

享保12年の甲府大火において焼失を免れた鉄門は、屋根瓦の葺き替えなどはおこなっているものの、大きな修理をおこなった記録は確認されていないことから創建時の姿を明治初年まで保っていたと考えられます。また、明治初年頃の古写真にも2階の切妻部が写っており、その存在を確認することができます。今回、廃城から約140余年の時を経て、鉄門が復元整備されました。

鉄門を見たあとは 兄弟石を探そう!

甲府城跡の石垣には「兄弟石」と呼ばれる石があります。もともと1つの大きな石だったものを、2つに割って使ったことからこう呼んでいます。

中でも天守台西側の石垣には、兄弟石が何組も見られます。これは、石垣の近くで石を割り、すぐに積んでいたからだと考えられています。兄弟石は、甲府城の築城技術を知るための大事なヒントです。

天守台西側の石垣をよく見ると、向きはバラバラだけど同じ形の石が何組かあります。矢穴の位置などをもとにペアを探してみましよう!



天守台西側石垣

問い合わせ

山梨県埋蔵文化財センター

〒400-1508 山梨県甲府市下曽根町923
TEL:055-266-3016
<http://www.pref.yamanashi.jp/maizou-bnk/>

甲府城跡HP「甲府城研究室」

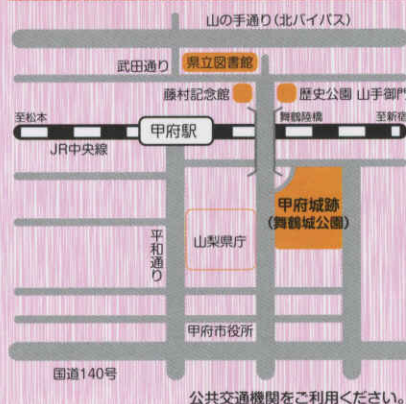
http://www.pref.yamanashi.jp/maizou-bnk/ko-fu_zyou/ko-fuzyou_kenkyuusitu.html

甲府城跡ブログ「くろちゃんの甲府城つづり」

<http://blog.goo.ne.jp/koufujyou>



案内図



鉄門(櫓)・稲荷櫓 ご利用案内

開館時間

午前9時から午後4時30分まで
※入館は午後4時まで

休館日

月曜日(祝日の場合は翌日)
年末年始(12月29日から翌年1月3日まで)

入館料

無料